

株主通信 | 2010年 春号

株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素のご支援、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

本株主通信では、本年1月29日に発表した2009年度第3四半期(9か月累計)決算を中心にご報告いたします。

円高および景気後退の影響を受け、売上高は前年同期比4,489億円減少し4兆5,341億円になりました。営業損益は、「収益改善に向けた体質改革プログラム」を全社で強力に推進し第3四半期までに3,100億円の固定費削減を達成したことをはじめ、コスト削減等に努めたことにより、電子デバイス部門が大幅に改善しデジタルプロダクツ部門、社会インフラ部門が増益になった結果、全体で前年同期比1,891億円改善して129億円の黒字となりました。また、当期のフリー・キャッシュ・フローは前年同期比4,914億円改善し、969億円となりました。

通期の業績予想につきましては、予想以上に長引く世界的な景気低迷の影響を受けて、売上高が前回予想(2009年5月8日)よりも減少する見通しとなりましたので、6兆4,000億円に修正しまし

た。損益につきましては、固定費削減効果の寄与や、NAND型フラッシュメモリを中心とする半導体の業績回復等により電子デバイス部門が前回予想より大きく改善することが見込まれる一方、デジタルプロダクツ、社会インフラ、家庭電器の各部門は前回予想より減益が見込まれるため、全社の通期予想は変更しておりません。

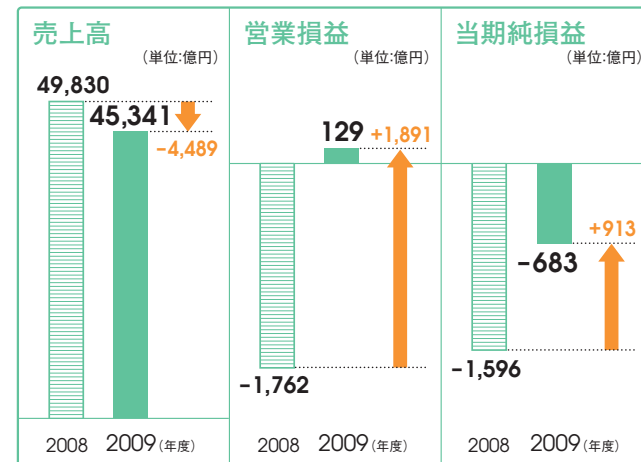
2009年度通期業績予想

| | |
|-------|----------------------------|
| 売上高 | 6兆4,000億円 (前回予想比:-4,000億円) |
| 営業損益 | 1,000億円 (前回予想比:変更なし) |
| 当期純損益 | -500億円 (前回予想比:変更なし) |

なお、部門別営業損益予想につきましては直近の経営状況をふまえ、裏面に記載の通り変更しておりますのでご参照ください。

上記のとおり、通期の当期純損益が赤字となることが予想されるため、1月29日開催の取締役会にて2009年度の剰余金の配当(期末)を見送らせていただくことを決定いたしました。株主の

2009年度第1-3四半期(9か月累計)連結決算の概況



※米国会計基準の変更により新たに採用された「当社株主に帰属する当期純損益」を当期純損益として表示しています。

みなさまには深くお詫び申し上げます。まずは通期の業績予想達成に向けて全社一丸となり全力を尽くして「利益ある持続的成長」への再発進を行い、早期の復配を目指してまいりますので引き続きご支援をお願い申し上げます。

2010年3月

代表執行役社長

佐々木 則夫



2009年度第1-3四半期(9か月累計)連結決算概況

- 売上高** メモリおよび海外の原子力プラントが増収だったものの、円高や景気後退の影響等により全部門で減収。
- 営業損益** 固定費削減等により第2四半期から2期連続で黒字を確保。デジタルプロダクツ部門、社会インフラ部門が増益。半導体の改善により電子デバイス部門が大幅に改善。家庭電器部門も改善。
- 当期純損益** 事業構造改善費用の発生により営業外損益が悪化するも、営業損益の改善により赤字縮小。

※上記は前年同期比での概況説明です。

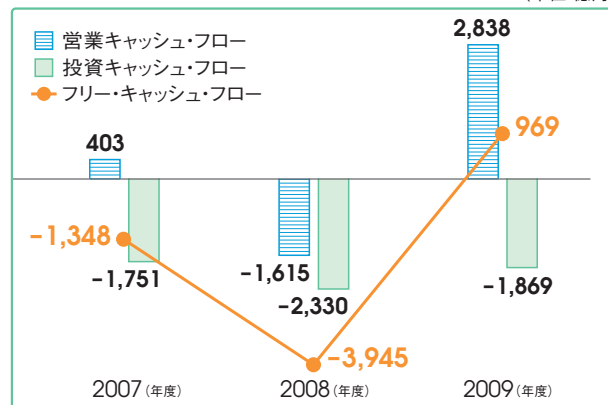
固定費削減状況・進捗

(単位:億円)

| 固定費削減状況 | 対08年度第1-3四半期 |
|-------------|--------------|
| デジタルプロダクツ | -620 |
| 電子デバイス | -1,320 |
| 社会インフラ | -680 |
| 家庭電器 | -370 |
| その他 | -110 |
| 連結計 | -3,100 |
| 減価償却費・リース料 | -490 |
| 研究開発費 | -500 |
| 人員関連費用 | -560 |
| 広告・販促費 | -220 |
| 業務委託費 | -290 |
| 業務活動費 | -220 |
| 賃借料・スペース関連費 | -250 |
| 製造間接費 | -200 |
| その他 | -370 |
| 合計 | -3,100 |

今年度期初計画では、前年度実績から3,000億円の削減を予定していましたが、第3四半期までに3,100億円の固定費削減を実施しました。年間では4,200億円の削減をめざしています。

フリー・キャッシュ・フローの改善(9か月累計) (単位:億円)



※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

2009年度 部門別営業損益予想 (単位:億円)

| 営業損益 | 09年度 | 08年度 | 期初計画 | 差 | |
|-----------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | | | | 対08年度 | 対期初計画 |
| デジタルプロダクツ | 50 | -142 | 250 | 192 | -200 |
| 電子デバイス | -300 | -3,232 | -600 | 2,932 | 300 |
| 社会インフラ | 1,400 | 1,132 | 1,500 | 268 | -100 |
| 家庭電器 | -100 | -271 | 0 | 171 | -100 |
| その他 | -50 | 5 | -150 | -55 | 100 |
| 連結計 | 1,000 | -2,502 | 1,000 | 3,502 | 0 |

ここに注目

東京電力株式会社のメガソーラー発電プラント一括受注について

2009年11月30日発表

当社は、東京電力(株)と発電出力約7MWのメガソーラー発電プラント「(仮称)浮島太陽光発電所」の建設に関する契約を締結しました。中部電力(株)「メガソーラーたけとよ」に続いて2件目となります。



沖縄電力株式会社からマイクログリッドシステムの受注について

2010年1月18日発表

当社は、沖縄電力(株)が、宮古島で2010年秋から実施する離島マイクログリッドシステム実証試験に関する設備の一括納入契約を締結しました。本設備は、マイクログリッド技術で制御する電力量が国内最大規模の設備であり、当社として、初の受注となります。



「投資家情報」サイトについて

本株主通信に掲載した決算発表等の内容の詳細は、東芝ホームページの「投資家情報サイト」でご覧いただけます。

なお、当社ホームページが以下の賞を受賞しました。今後とも株主・投資家のみならず、皆さまへの適時適切な情報開示を心がけてまいります。株主通信と併せて投資家情報サイトを是非ご覧ください。 www.toshiba.co.jp/about/ir/

| 評価者 | 表彰内容 | |
|---------------------|--|---|
| 日興アイ・アール(株) | 企業ホームページ最優秀サイト 日興アイ・アール総合ランキング1位 | 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査(09年11月) 2年連続総合1位 通算5回目 (対象:3,779社) |
| 大和インベスター・リレーションズ(株) | インターネットIRベスト企業賞 2009 Dime Investor Relations | インターネットIR・ベスト企業賞(09年12月) 5年連続受賞 通算8回目 (対象:1,223社) |

株主通信へのご意見・資料請求や、郵送停止請求は
〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
株式会社東芝 広報室 までにお送りください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。

